



東京女子医大麻酔科 グランドラウンド

Anesthesia Grand Rounds at TWMU



2024年1月29日 (月)

東京時間朝7時-7時50分

教育研究棟3階会議室 & ZOOM

lkyoku.ac@twmu.ac.jpまで

事前登録おねがいします

演者:重見研司先生

Prof. Kenji Shigemi,
MD, PhD

福井大学 医学系部門 医学領域
器官制御医学講座 麻酔・蘇生学 教授

ロボット麻酔システム
～活用方法と今後の展望～

Robotic Anesthesia System

～ User instructions and future perspectives ～

決して夢ではなかった！ロボットが麻酔に参加する近未来の世界が、我々の臨床の現場に登場します。今回、福井大学・国産発、世界に向けた未来型麻酔器AsisTIVAの設計から実用化までの全てを手がけた重見教授が直々に解説してくださる貴重な機会を頂戴しました。麻酔中の脳波と筋弛緩モニターのデータに基づき、成人患者さんの全静脈麻酔時に投与する麻酔薬（鎮静薬、鎮痛薬、筋弛緩薬）の量を自動的に演算し、シリンジポンプの設定をクローズドループで制御する麻酔器がどのような意味をもつのか。麻酔の鎮静、鎮痛、無動の全ての要素が未来の麻酔器に搭載されるならば、私たちの医療はどう変化し、麻酔をうける患者に施される医療の質と安全はどのように変わるのでしょうか。これから大きな社会現象を生み出すであろう最新鋭機器には、優れた知恵とそれを支える技術がそこかしこに詰まっています。今後の医療がどのように変革されるのかも注目されます。みなさま、是非こぞってご参加ください！

利益相反:日本光電株式会社にご協賛いただいております 

今後の予定・20240209-11 ICAPS2024演者が続々登場！米国ハーバード大学Massachusetts General Hospital 麻酔科准教授May Pian-Smith先生、米国シカゴ Northwestern大学麻酔科教授Steven Greenberg先生、埼玉医科大学総合医療センター麻酔科教授小山薫先生、ほか